

平成31年 北海道内における住宅用火災警報器の発動事例

※ 朝(10:00から9:59時まで)、昼(10:00から13:59時まで)
 夕(14:00から17:59時まで)、夜(18:00から21:59時まで)、
 深夜(22:00から5:59時まで)、早朝(6:00時から9:59時まで)

※ は、点検等で活用する際、非公開とする項目

件数	月	日	発生時刻	時刻区分	市町村	建物種別	設置の経緯	感知したタイプ	出火場所	設置場所(備置場所)	出火原因	発覚者	原因概要	発見・通報・状況等
1	1	3	21:14	夜	札幌市	アパート・マンション等	不明	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き	2階一室分間で調理した居住者が調理中に居眠りをし、鍋から発生した煙で火警報器が作動し、隣居居住者がその警報音に気づき119番通報したものの、消防隊の活動等による物音で居住者が寝りから覚め、火災に至らなかったもの。
2	1	3	8:30	朝	江別市	アパート・マンション等	不明	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き	居住者が鍋に火をかけたことを忘れてしまい煙が発生。その後、住宅用火災警報器が発報、居住者は目覚めたと気付いたものの、通報については消防隊の活動により消防隊等に通報されたものである。早朝に鍋の空焚きを発見することができたため、火災に至らなかった事例である。
3	1	5	20:10	夜	千歳市	共同住宅	平成28年所有者設置	煙	台所	寝室	たばこ	居住者	たばこの消え残りの火種が増殖した原因不明	この日に煙って水を洗面せうにたばこを消し、残り煙を洗面せうで外出、帰宅したところ、玄関で住宅用火災警報器の鳴動を確認。居室のドアを開け、煙が部屋に充ちたことにより自動で発報したため、近づくにつれて煙を吸って水をかけて消火。通報者は、仕事から帰宅した共同住宅の2階の居住者であった。発見は居住者の煙たばこを消したため、自動で発報後消防隊の活動による共同住宅用火災警報器の鳴動を確認し、鳴動場所を確認するも特定できず、管理会社も不在であったことから119番通報した。
4	1	6	13時50分頃	昼	那覇市	アパート・マンション等	平成28年に建物所有者が設置	煙式	台所	就寝室	こんろ	隣人	鍋の空焚き	居住者は片手鍋に牛乳を入れガスコンロにて加熱していたことを忘れ、共同住宅の隣に住む近所の部屋に居る。その後、気づかぬうちに住宅用火災警報器の音に気付いた息子が気づかぬままにガスコンロのスイッチを切ったため、通報した。消防隊が到着した際にガスコンロの火は安全装置が作動し消火されていた。
5	1	15	16:23	夕方	余市町	戸建住宅	平成29年3月頃に販売店で購入し設置	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	鍋の空焚き	居住者が、台所の1口コンロで煮込み鍋を加熱していたところ、鍋の中のものが焦げ、煮込み鍋が沸騰したことで煙が発生。その後、気づかぬうちに住宅用火災警報器の音に気付いた息子が気づかぬままにガスコンロのスイッチを切ったため、通報した。消防隊が到着した際にガスコンロの火は安全装置が作動し消火されていた。
6	1	22	11:00	昼	留寿都村	戸建住宅	所有者が設置	熱式	居間	その他(居間・不明を含む)	その他(不明を含む)	居住者	使用済みのマッパを整理しようとして、マッパの裏面に付いた煙を感知した。その後、気づかぬうちに住宅用火災警報器の音に気付いた息子が気づかぬままにガスコンロのスイッチを切ったため、通報した。消防隊が到着した際にガスコンロの火は安全装置が作動し消火されていた。	
7	2	3	15:59	夕方	北見市	アパート・マンション等	義務化に伴い設置	煙式	居間	その他(居間・不明を含む)	ストーブ	居住者	ストーブ上に物を放置	1階居間(出火場所の直下部分)にて作業中の居住者(男)が住宅用火災警報器(熱運動型)の鳴動を確認し、鳴動している原因を探ろうとして、ストーブの上から煙を感知した。その後、気づかぬうちに住宅用火災警報器の音に気付いた息子が気づかぬままにガスコンロのスイッチを切ったため、通報した。消防隊が到着した際にガスコンロの火は安全装置が作動し消火されていた。
8	2	8	7:45	朝	浦里町	戸建住宅	平成24年4月時に設置	煙式	台所	台所	こんろ	緊急通報システム	緊急通報システム	居住者が分煙でコンロを使用していた際に、調理後、鍋を置いたところ煙が充満し、感知装置である緊急通報システムの感知センサーが発報し、消防に通報が入電された。消防隊が到着した際は、既に煙の充満が確認できたため、火災に至らなかった事例である。
9	2	9	14:26	夕方	稚子町	アパート・マンション等	義務化に伴い設置	煙式	台所	台所	こんろ	居住者	ガスコンロの消し忘れ	居住者がガスコンロで湯を熱するための鍋をかけたまま、1時はガスコンロを消した。その後、警報器が発報し、気づかぬうちにガスコンロのスイッチを切った。その後、気づかぬうちに住宅用火災警報器の音に気付いた息子が気づかぬままにガスコンロのスイッチを切ったため、通報した。消防隊が到着した際にガスコンロの火は安全装置が作動し消火されていた。
10	2	16	13:00	昼	旭川市	アパート・マンション等	時期不明の設置	煙式	就寝室	就寝室	たばこ	居住者	喫煙時に、たばこの灰が布団上に落ち、出火したものの、消防隊到着時、居室内に煙が充満し、布団が無煙状態にしている状態であった。	
11	2	22	18:45	夜	千歳市	共同住宅	不明	煙	台所	台所	こんろ	居住者	くんぶら湯の湯沸かし(熱火災)	19時50分頃、居住者は調理のため、くんぶら湯にてくんぶら湯を沸かす際、約1cm程度の、3口ガスコンロにて加熱。その際、湯を沸かす際、自動で発報した。居住者は気づかぬうちに住宅用火災警報器が発報した。居住者が気づかぬうちに、住宅用火災警報器の鳴動により気づき、自動で発生している鍋をシンクにひっくり返して、残り湯を捨て、温度を下げ、自動で発生している鍋をシンクにひっくり返して、残り湯を捨てた。その後、居住者は119番通報したものの、119番通報した。
12	2	17	4:00	早朝	札幌市	戸建住宅	不明	煙式	居間	就寝室	たばこ	居住者	たばこの不始末	発見・通報者は、2階自室で寝ていたところ、住警報の音で目を覚まし、室内に煙が充満していたことからすぐに居間に駆け出し、その後、居間のガスコンロを確認した。その際、居間のガスコンロを確認した。その後、気づかぬうちに住宅用火災警報器の音に気付いた息子が気づかぬままにガスコンロのスイッチを切ったため、通報した。消防隊が到着した際にガスコンロの火は安全装置が作動し消火されていた。
13	2	24	17:55	夕方	北斗市	戸建住宅	1123年6月所有者設置	熱式	台所	台所	こんろ	居住者	使用不備	居住者が夕食の調理のため1口コンロのガスコンロにて、電気グリル鍋本体を火にかけたことにより、本体のガスコンロの燃焼部が故障し、出火。合わせて設置していた住宅用火災警報器(熱式)が作動する。2階にいた居住者の息子が鳴動に気づき、燃焼したガスコンロの火を消す。なお、警報器は電気グリル鍋の燃焼部のみがガスコンロで設置していたが、火災時には本体ごとガスコンロに落ちたものの、通報は、近所の住人が居住者の住所の番から火が燃えたため通報した。
14	3	9	0:35	深夜	室蘭市	アパート・マンション等	単体住宅のみの導入	煙式	台所	就寝室	こんろ	隣人	鍋の空焚き	居住者が寝酒して帰宅した際、こんろに鍋をかけたまま寝てしまった。同じアパートの近所の住人が住宅用火災警報器の警報音に気づき、119番通報した。消防隊が到着した際は、既に煙の充満が確認できたため、火災に至らなかったもの。
15	3	16	15:05	夕方	釧路市	その他	義務化に伴い設置	煙式	台所	その他(居間・不明を含む)	こんろ	居住者	鍋の空焚き	2階台所で調理した際に、火をかけたまま、火を消さずに空焚き状態となり、台所の隣に設置されている住警報器が発報。居住者が気づかぬうちにガスコンロの火を消し、調理作業を行い、火災に至らなかったもの。
16	3	22	13:03	昼	遠軽町	戸建住宅	時期不明 居住者が設置	煙式	台所	就寝室	こんろ	居住者	鍋の空焚き	こんろに鍋をかけたまま、その鍋を調理、居間でテレビを見ていると、寝室に設置の住宅用火災警報器が発報した。気づかぬうちにガスコンロの火を消した。その後、気づかぬうちに住宅用火災警報器の音に気付いた息子が気づかぬままにガスコンロのスイッチを切ったため、通報した。消防隊が到着した際にガスコンロの火は安全装置が作動し消火されていた。